



南木曾町

72 妻籠宿の家並

長野県 南木曾町

全国の町並保存運動の先駆的役割をはたす。人が住み、生活しながらの保存。住民により「妻籠宿を守る住民憲章」を制定。



江戸時代に中山道の宿場として栄えた妻籠宿は、明治以降、衰退の一途をたどっていたが、昭和四十三年から歴史的町並の保存運動が行われ、現在では木曾路観光のメッカとなっている。

昭和四十六年には「妻籠宿を守る住民憲章」が制定され、「売らない、貸さない、こわさない」の三原則を住民自らが貫いている。

昭和五十一年には、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、学界からの指導をとり入れるなど、本格的な町並保存が行われている。

データボード

■所在地

長野県木曾郡南木曾町
妻籠

■応募者

南木曾町役場
☎0264-57-2001